

### 3 - (4) ヒレグロ資源調査

氏 良介

#### 目的

ヒレグロは本県沖合底びき網漁業の主要漁獲対象種の一つである。資源の適正な利用を図るため、本種の生態及び資源水準を把握する。

#### 方法

本県沖合底びき網漁業の基地である田後漁協（田後）、鳥取県漁協網代港支所（網代）、鳥取県漁協本所（賀露）の漁獲量及び金額を集計した。

当該3漁協（支所）のうち、近年、漁獲の最も多い田後漁協を代表漁協（支所）とし、田後漁協の主要陸揚港である境漁港において水揚げされた漁獲物の体長を測定した。

また、漁期中、原則毎月1回魚体を購入し、体長、体重、性別、生殖腺重量などを測定した。さらに、銘柄別漁獲量を集計し、前述の生物測定結果等から本県におけるヒレグロの体長別漁獲尾数を算出した。

#### 結果

##### (1) 漁獲量等の推移

1975～2008年までの鳥取県における漁獲量と単価の推移を図1に示した。漁獲量は1984年に1,471tに達した後、減少傾向に転じ、1994年には191tにまで減少した。1995年以降は増減を繰り返しながら微増傾向にあり、近年は400t程度で推移している。2008年は389t（前年比110%）の漁獲量であった。

一方、単価は1991年に736円/kgを最高に年々低下してきており、2008年は209円/kg（前年比96%）であった。

次に、月別漁獲量の比較を図2に示した。2008年は、1～4月は低調であったが、5月及び9～12月は前年、平年を上回った。

また、図2に田後漁協における2008年の月別銘柄別漁獲量を示した。銘柄～の大型の個体は少なく、銘柄～を中心に多く漁獲されている。

##### (2) 推定漁獲尾数

漁獲状況調査及び生物測定調査から推定した鳥取県における月別雌雄別体長別漁獲尾数を図3及び表2に示した。推定年間漁獲尾数は雌が約226万尾、雄が約21万尾で、雌は前年より約38万尾少なく、雄は約11万尾多い水揚げであった。年間をとおして、雄は体長20cm前後にモードが見られ、雌は体長20～23cmにモードが見られた。

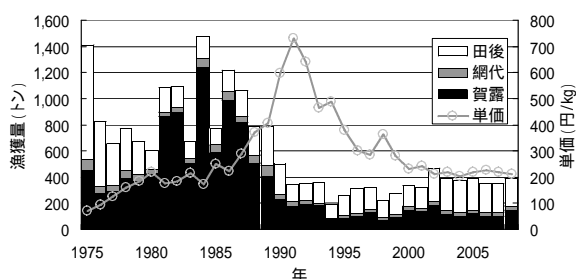


図1 鳥取県におけるヒレグロの漁獲量と単価の推移

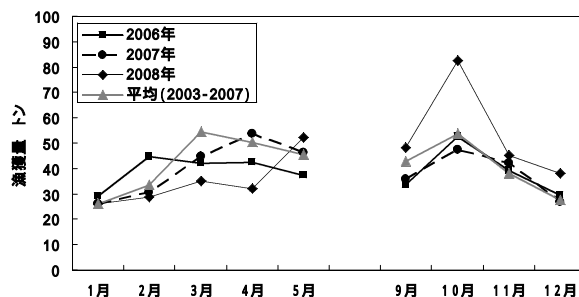


図2 月別漁獲量の比較

表1 田後漁協における2008年の月別銘柄別漁獲量

単位:kg

	1月	2月	3月	4月	5月	9月	10月	11月	12月	合計
銘柄	28	15	40	20	95	60	320	70	105	753
銘柄	105	105	185	180	345	292	785	235	360	2,592
銘柄	430	310	620	688	1,155	720	1,825	747	710	7,204
銘柄	940	840	1,520	1,300	2,860	1,470	2,975	1,510	1,557	14,972
銘柄	1,850	1,580	2,930	2,215	4,930	2,275	3,815	2,840	2,756	25,191
銘柄	2,775	2,565	3,795	3,100	6,444	3,470	5,040	4,280	3,927	35,396
銘柄	3,185	2,840	4,215	3,780	6,866	3,395	4,750	5,115	4,742	38,888
銘柄	2,794	3,125	4,265	3,870	6,661	4,275	4,665	4,475	4,777	38,907
銘柄	1,656	1,441	1,276	375	1,235	1,055	1,375	2,210	2,982	13,605
銘柄	1,863	1,508	1,630	590	1,485	1,240	1,652	2,160	1,976	14,104
銘柄	860	535	350	165	450	495	350	798	345	4,348
銘柄	5									5
その他 (はんば、入り合わせ等)	1,510	1,098	1,773	1,208	2,925	1,400	1,085	1,335	897	13,229
合計	18,001	15,962	22,599	17,490	35,450	20,147	28,637	25,774	25,134	209,192

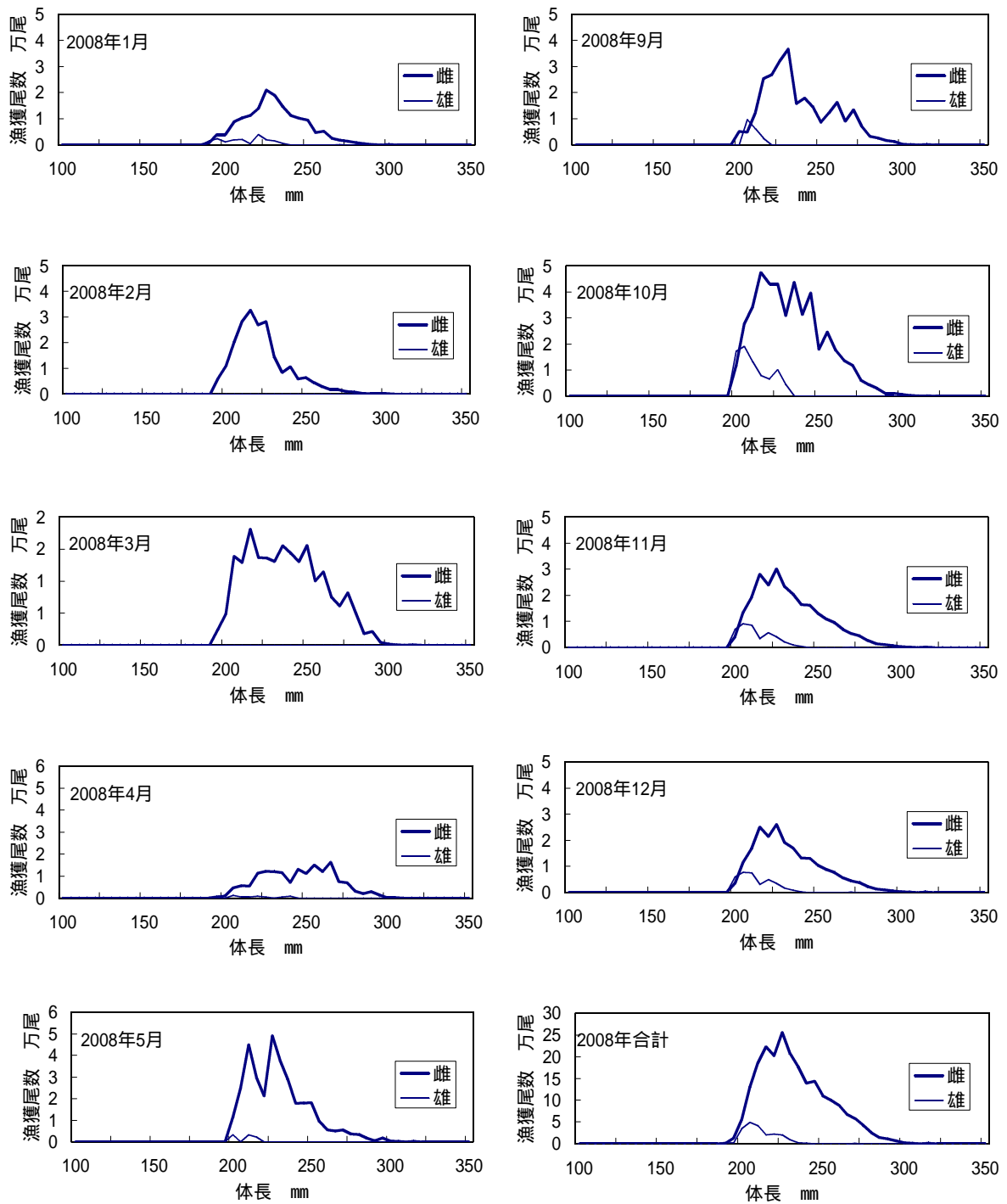


図3 鳥取県におけるヒレグロの月別雌雄別体長別漁獲尾数

